



「REVERSO STORIES」の旅が

シドニーの中心を巡ります

90年にわたるクラフツマンシップ、創意工夫、デザインを巡る
体験型の旅

概要：

- 4章で構成されたレベルソ アイコンのストーリー
- ジャガー・ルクルトの芸術的コラボレーション・プログラム「メイド・オブ・メーカーズ」における、イーユン・カンによる大規模なアートインスタレーション
- 3つの特別な新作レベルソの発表

この5月、ジャガー・ルクルトは、シドニーの中心でさまざまな体験を提供する体験型の旅を開催し、来場者の皆様をレベルソの世界へと誘います。「Reverso Stories」は、ポロ競技の過酷な練習に耐えるために作られたウォッチが、最も有名なタイムピースのひとつになるまで、90年にわたる文化と社会の変化を通して、時計製造のクラフツマンシップとデザインの世界に浸る機会です。「Reverso Stories」は、2024年5月10日から19日まで、シドニーCBDのマーティン・プレイスで開催されます。

「Reverso Stories」：魅力的な回顧展と新作の発表

「Reverso Stories」では、「アイコンの物語」、「スタイルとデザインの物語」、「革新の物語」、「クラフツマンシップの物語」の4つの章を通して、この時計製造のアイコンの歴史、クラフツマンシップ、革新、デザインを発見する魅力的な旅にご案内します。めったに見ることのできないアーカイブのタイムピース、現代のハイジュエリー、ミニチュアに彩られたモデルから現行コレクションのハイライトまで、レベルソを象徴するモデルの数々、そして世界初の4つのダイヤルを備えた腕時計、レベルソ・ハイブリス・メカニカ・キャリバー185「クアドリプティック」が紹介されています。

展示と並行して、ペルラージュ装飾の実演も行われ、一般に公開されることの少ない時計製造工程の一端をご覧ください。

また、「Reverso Stories」シドニーエディションで、マニュファクチュールのメティエ・ラール™（希少なクラフツマンシップ）アトリエで施されるエナメル加工、金箔のパイヨナージュ、ジェムセッティングの技術を備えた、3つの特別な新作限定レベルソ ウォッチが世界的に発表されます。



メイド・オブ・メーカーズ：マルチメディア・アーティスト、イーユン・カンとのコラボレーション

ジャガー・ルクルトが「メイド・オブ・メーカーズ」プログラムの一環として、韓国人アーティストのイーユン・カンに依頼したマルチメディア・インスタレーション「Origin」から、「Reverso Stories」の探索が始まります。メイド・オブ・メーカーズは、時計製造以外の分野のアーティスト、デザイナー、職人たちとのコラボレーションを通じて、時計製造とアートの間にある対話を追求し、拡大しています。このプログラムではこれまで、視覚芸術、美食、音楽を取り上げてきました。

「Origin」は、公共スペースに設置するために作られた非常に大きな立体スクリーンで上映され、私たちを取り巻く世界に偏在する黄金比の普遍性にオマージュを捧げます。

カフェ 1931 とブティック：完璧な体験

アール・デコの精神に浸ることができるカフェ 1931 では、軽食をお楽しみいただけます。徒歩 2 分、キング・ストリート 84 番地に位置するジャガー・ルクルトのブティックにもぜひお越しください。

営業時間と入場について

「Reverso Stories」は 2024 年 5 月 10 日から 19 日まで、シドニー CBD のマーティン・プレイスで、毎日午前 9 時から午後 7 時（日曜日は午後 5 時）まで開催され、無料で一般公開されます。また、約 20 分のガイドツアーをご利用いただけます。

オンラインでのご予約は、<https://online-booking.jaeger-lecoultre.com/atelier/94>、または事前ご予約なしで当日に現地でご登録ください。



レベルソについて

1931 年、ジャガー・ルクルトは、20 世紀のデザインのクラシックとなるタイムピース、レベルソを発表しました。ポロの激しい試合にも耐えられるように作られており、すっきりとしたアールデコ調のラインと特徴的な反転式ケースを備えたこの時計は、瞬時に識別することができます。誕生から 90 年間、レベルソはアイデンティティに妥協することなく自らの存在を常に変化させてきました。50 種類以上のキャリバーが搭載され、何も描かれていないメタルの裏面はクリエイティブな表現のためのキャンバスとなり、エナメル、エングレービング、ジューストーンなどで装飾が施されました。今年、90 周年を迎えたレベルソは、変わることなく、その誕生にインスピレーションを与えた現代の精神を象徴し続けています。

イーユン・カンについて

最もアクティブで高い評価を得ている韓国のデジタルメディアアーティストの一人であるイーユン・カンは、空間を映像と音で構成しなす体験型オーディオビジュアルインスタレーションで有名です。

彼女は、ソウル大学で絵画の美術学士号（BFA）を取得し、卒業後 UCLA で学業を続け、ロンドンのロイヤル・カレッジ・オブ・アートで博士号を取得し、当学校の客員講師を務めています。現在は、芸術活動に加え、KAIST（韓国科学技術院）の技術学校で助教授を務めています。ここでは、体験型デザインラボのディレクターとして、多様な研究と実践を通してアート、デザイン、テクノロジー、科学の融合を迫及しています。

イーユン・カンの作品は、ヨーロッパ、アジア、米国で展示され、ヴェネツィア建築ビエンナーレや深圳ニュー・メディア・アート・フェスティバルなどの国際イベントにも参加しています。2015 年から 16 年に、ヴィクトリア&アルバート美術館（ロンドン）の研修プログラムに参加し、ヴィクトリア&アルバート美術館は、彼女のサイトスペシフィックな作品を永久コレクションとして所蔵しています。

デジタル方式で投影した動画アート作品の特徴を学術研究者として検証したイーユン・カンの著書は、MIT Press および Oxford University Press から出版されています。彼女は定期的に国際的な会議に参加し、アート、デザイン、テクノロジーの最前線で活躍する団体や企業向けに講演を行っています。

ジャガー・ルクルト - ウォッチメーカーの中のウォッチメーカー™

1833 年以来、ジャガー・ルクルトは、革新性と創造性への抑えきれない渴望に導かれ、故郷ジュウ溪谷の平穏な自然環境からインスピレーションを得て、複雑機構への熟練した技術とその精度で際立った存在となっています。ウォッチメーカーの中のウォッチメーカー™として知られるマニファクチュールは、1,400 を超えるキャリバーの制作と 430 以上の特許を通して、その絶え間ない革新の精神を表現してきました。ジャガー・ルクルトの時計職人たちは、190 年にわたる蓄積された専門知識を駆使して、最先端の精密なメカニズムの設計、製造、仕上げ、装飾を行い、何世紀にもわたるノウハウと情熱を融合させ、過去と未来をつないでいます。時代を超え、常に時と共にあります。180 種類もの専門技術がひとつ屋根の下に集結したマニファクチュールは、その技巧に、デザインの美しさを独特で控え目な洗練とを組み合わせ、高級時計に息吹を吹き込んでいます。
